

高齢者向けサービスの利便性向上 に向けた I C T の活用について

2022年6月17日

NTT西日本グループ

ハッピーベル株式会社

1. NTT西日本グループのヘルスケア分野に関する取組み

2. 光回線を採用いただいたハッピーベル株式会社様の取組み

1. NTT西日本グループのヘルスケア分野に関する取組み

2. 光回線を採用いただいたハッピーベル株式会社様の取組み

Smart 10x

地域をもっとスマートに。

地域の社会・産業とともに、まち・ひと・くらしをもっとSmartに。
地域のみなさまと、10分野の課題解決・未来社会の共創を、
SmartなICTソリューションで。

全国各地でプロジェクト化



ICT を活用した 未病ケア社会づくり

NTT PARAVITA

Smart 10x

日常の健康を支える睡眠をデジタル化し、日々の健康状態と睡眠のデータ分析から健康への介入へと導くヘルスケアサービスをオンラインで提供し、地域社会の健康増進をDX化でサポート

- 医療・介護ベッド及びマット型睡眠センサーで国内トップ
- 高精度の睡眠センサー及び睡眠領域の知見

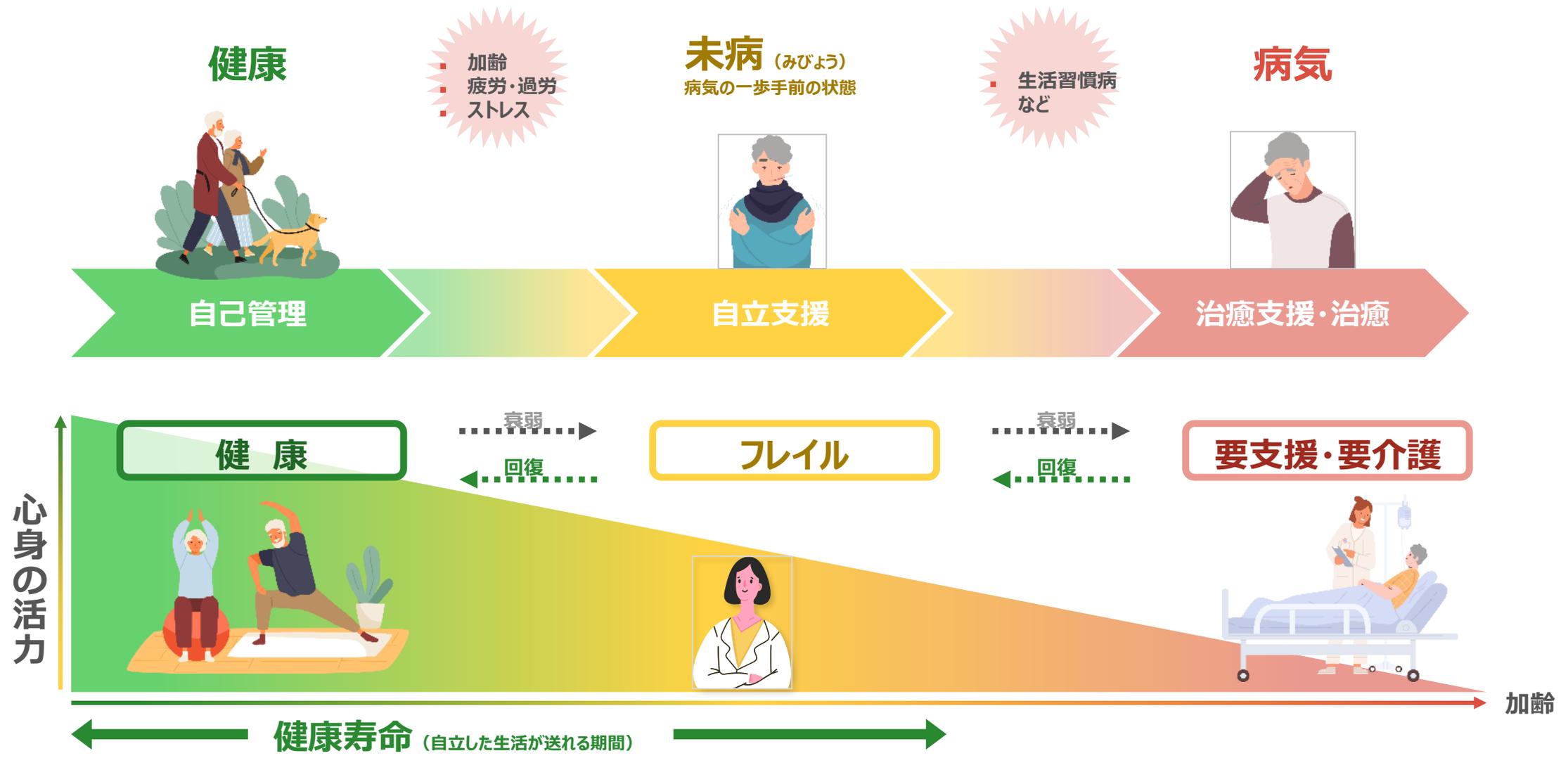


睡眠データを軸としたヘルスケアサービスのDX化



- AI（認知機能推定）エンジンとデータ活用ノウハウ
- 地域密着型のICT導入サポート・実績

高齢者の心身の健康維持のために、未病対策やフレイル予防対策が必要と考えています。



認知症施策 推進大綱

■ 基本的な考え方

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会をめざし、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「**予防**」※を車の両輪として施策を推進

※「予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味

厚生労働省ホームページより



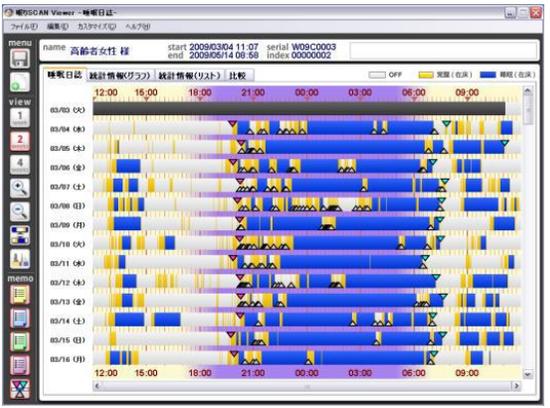
厚生労働省 e-ヘルスネット より
<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/alcohol/ya-033.html>

介護施設向けベッドセンサー

見守り支援システム

「眠りSCAN」

非装着型睡眠計



- ✓ 介護施設内のみでデータ閲覧可能
- ✓ 一般医療機器（クラス I）
- ✓ 介護ロボット導入支援事業の補助対象に採用実績あり

一般利用者・在宅介護向けベッドセンサー

Active Sleep ANALYZER

マットレスや布団の下に敷くだけで、睡眠状況をモニタリングする高性能センサー

- ・専用アプリ（スマホ/PC WEB）でデータを閲覧可能
- ・睡眠だけでなく、バイタルデータも測定
- ・WiFiがない家庭には、専用ルーターもご用意

測定データ：

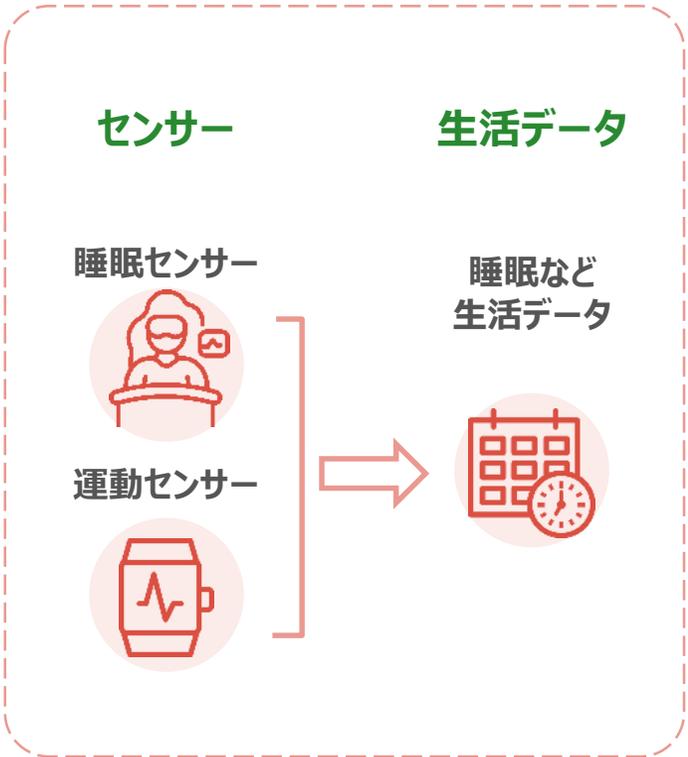
- 睡眠
- 心拍
- 呼吸
- 体動

A photograph showing a grey sensor mat placed under a mattress. To the right, a smartphone displays the Active Sleep ANALYZER app interface, which shows a large '94%' sleep score and various vital signs like heart rate (56.7), breathing (15.6), and movement (28.9).

- ✓ インターネット経由でのデータ閲覧を想定
- ✓ 家庭向けベッド製品とセット提供中
- ✓ 非医療機器

下記のミッションのために、睡眠データから未病状態の推定や適切な介入をサービスとして提供します。

日常生活（睡眠）データとAIを活用し、「未病状態」にいち早く気づき、悪化する前に適切な介入への誘導を促していくことで、病気になりにくい社会へ



実施内容

- 高齢者住宅2施設（被験者29名）で実証実験を実施。ロボットによる定期的な認知症診断テスト、HDS-Rの結果から認知症/それ以外を2分類、下記データの特徴量を分析する機械学習を実施

使用機器



睡眠センサー



対話型
ロボット



位置情報
取得システム

成果および課題

- ロボットとの会話情報および屋内位置情報の分析により、認知症群の分類において80%程度の精度モデルを実現。
- 睡眠情報の分析により、認知症群の分類において80%程度の精度モデルを実現。
- ロボットによる認知症診断プログラムは質問回答38%、採点可能はそのうち45%であった。ロボットの音声認識精度の向上、「認知機能確認テスト」回答採点の自動化が必要。

実施内容

- 高齢者住宅等5施設（被験者105名）で実証実験を実施
- MMSEの結果から認知症/MCI/それ以外をそれぞれ分類、下記データの特徴量を分析する機械学習を実施

使用機器



成果および課題

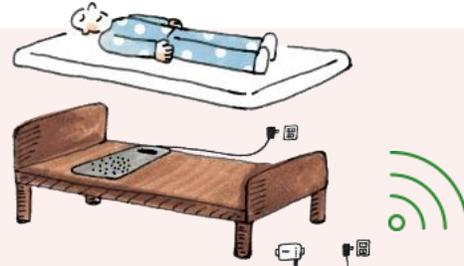
- **睡眠センサー情報の分析により、認知症群・MCI群の分類において最大78%の精度モデルを実現**
- 人感・ドア開閉センサー情報は、本人以外行動の排除が必要
- 睡眠情報は、精度向上のため、睡眠状態の推定ができるセンサーが望ましい
- 位置情報取得タグの携帯方法の検討が必要

睡眠データから認知症やフレイルなどの未病状態をAIで推定すること、そして睡眠データとAIの推定結果をもとに専門家が伴走して睡眠や健康を改善・維持につなげることが特徴です。



睡眠センサー
レンタル提供

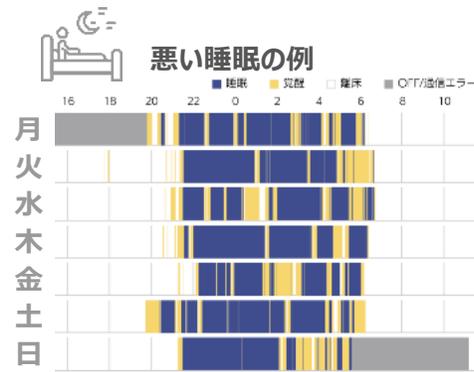
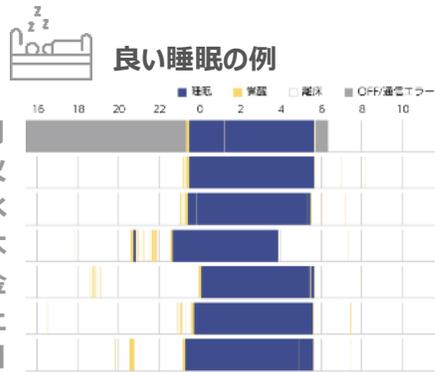
ご利用イメージ



- 薄型シートセンサー
- 敷いていることを意識せずにデータを取得
- だれでも簡単に設置でき、すぐに利用可能



データ活用
AI分析



■ 睡眠 ■ 覚醒

- 日々の睡眠状態やバラツキを見える化
- 悪い睡眠は、朝の覚醒時刻がバラバラで、途中の覚醒も多い



改善介入
未病への気づき

項目	内容
睡眠リズム	睡眠リズムが安定しているか、睡眠時間や起床時間が一定しているかを確認します。
睡眠の質	睡眠の深さや覚醒回数を確認し、睡眠の質を評価します。
睡眠と生活習慣	睡眠と生活習慣（食事、運動、ストレス）の関連性を分析し、改善のポイントを提示します。
健康リスク	睡眠データから認知症やフレイルなどの健康リスクを推定し、早期介入の機会を提供します。
専門家によるサポート	睡眠データに基づき、専門家が睡眠改善や健康維持のためのアドバイスを提供します。

睡眠レポート

専門家



中途覚醒をおさえるためにお酒は就寝の3時間前までにしましょう！

- 睡眠の質の改善アドバイス（生活習慣の改善）
- 健康リスクのスクリーニング（軽度認知障害・うつ・睡眠時無呼吸）

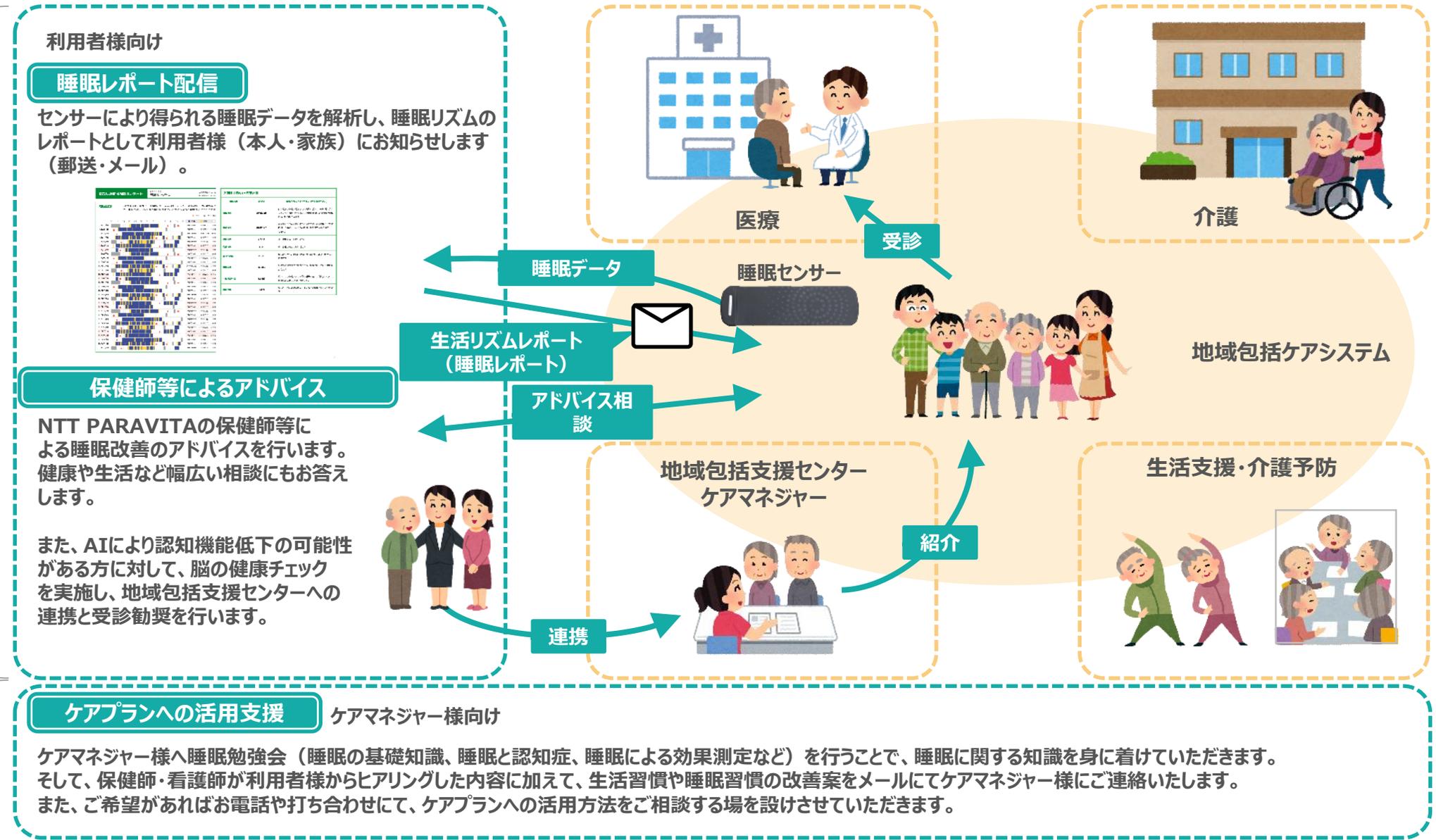
自治体での導入イメージ全体像

地域包括ケアシステムとも連携を図りながら、高齢者の睡眠と生活をサポートします。

天理市
2022年度導入

堺市
2021~2022年度実証中

加古川市
2022年度実証中



大阪府の堺市様では、ひとり暮らしの高齢者等を対象に睡眠リズムの見える化を活用した見守りに関するフィールド実証を実施中
 兵庫県の加古川市様では、地域包括支援センターのケアマネージャーによる睡眠データの活用をめざしたフィールド実証を実施中

堺市からのご案内
 堺市にお住いの「65歳以上の皆さま」および「ご家族の皆さま」へ

**『あんしん睡眠サポート』
 モニター募集！**

睡眠は、頭・身体・心の健康に密接に関連しています
 ずっといきいきと、あなたらしく過ごすために
 毎日の睡眠を見直してみませんか？
 『あんしん睡眠サポート』がお手伝いします

堺市では、ICT技術を用いた健康維持と見守りに向けた先進的な取組の一環として
 NTTPARAVITA、NTT西日本、パラマウントベッド株式会社、大阪大学大学院医学系
 研究科と連携し、ひとり暮らしの高齢者等を対象として〈睡眠リズムの可視化〉を行い
 それを活用した〈見守り〉に関する実証プロジェクトを実施します。

応募概要	
対象者	ひとり暮らしの65歳以上の方 または、65歳以上のみの世帯(ご夫婦など)の方
実証期間	2021年11月頃～2022年7月頃
実証方法	睡眠センサーのご利用と アンケートにご協力いただきます。
応募人数	300名 <small>※応募方法は募集をご覧ください。 ※応募多数の場合はお断りさせていただく場合がございます。</small>
堺市担当課	健康福祉局 生活福祉部 地域共生推進課 (072-228-0375) 市長公室 政策企画部 先進事業担当 (072-228-7480)

モニター参加無料
 [応募締め切り]
 2021年11/5(金)

『あんしん睡眠サポート』とは

睡眠センサーで測った睡眠習慣を定期的にレポートとして、お渡しします。
 また、保健師または看護師があなたの睡眠習慣を確認し睡眠や健康をサポートします。

- 設置は簡単、すぐにご利用いただけます
 ご利用いただく睡眠センサーは、お布団やマットレス下に敷き、電源プラグをコンセントに差し込むだけ。ルーターの電源も、同じ部屋のコンセントに差し込んでください。電気代はご負担いただけます。



- レポートを毎月お届けします
 睡眠センサーで測った睡眠習慣をレポートにしてお渡しします。ご希望に合わせて、ご自宅への郵送またはメールで、毎月お届けします。
 ご家族にもレポートをお送りすることができます。



睡眠習慣を確認し、
 普段の生活から変化がみられる場合
 こちらからご連絡させていただく
 場合があります。

日本初の取組みで自治体と共同し住民の健康維持・改善をめざす 「ねむりの見守り」を提供開始

「ねむりの見守り」は、

- ・多くの高齢者が悩みを抱える「睡眠」に着目
- ・日常生活に負担の少ないセンサーで睡眠を計測
- ・専門家による改善アドバイスで行動変容を促し
健康維持・改善、疾病の予防を実施
- ・導入第一弾となる「天理市睡眠サポートプログラム」は、
成果連動型民間委託契約方式（PFS：Pay For Success）を採用



睡眠センサーを活用し、睡眠改善から住民の健康維持・改善を
めざすPFS事業は、日本初の事例*

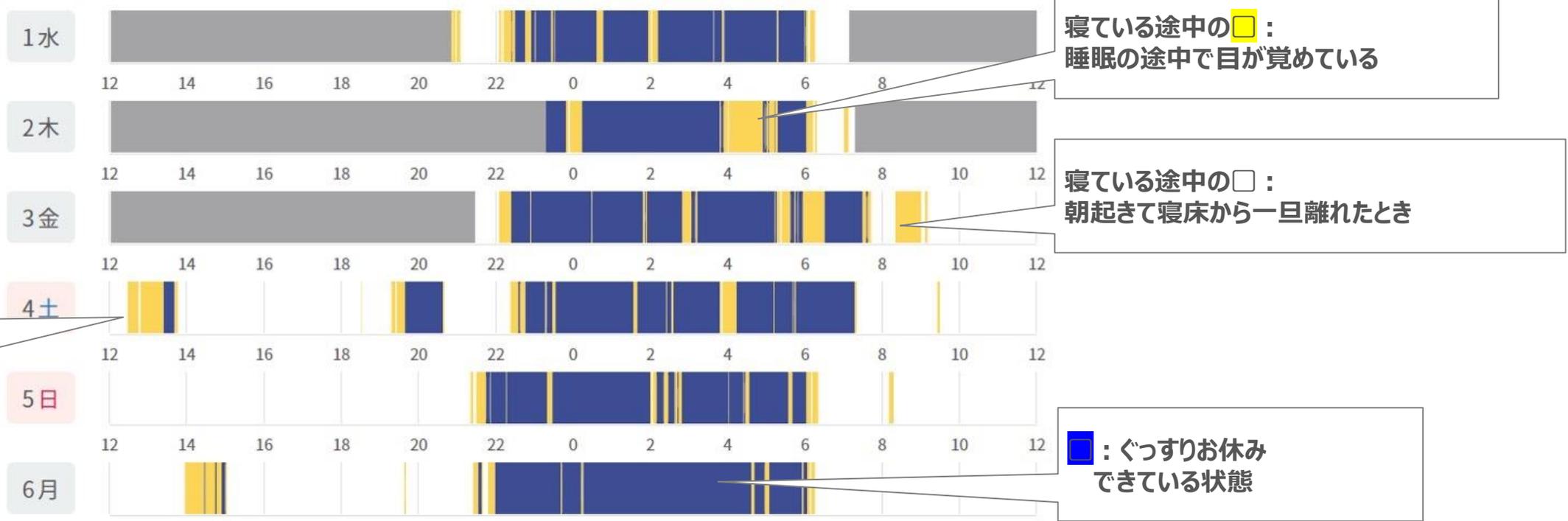
*専門家へのヒアリングおよび内閣府「成果連動型民間委託契約方式（PFS：Pay For Success）ポータルサイト」内のPFS事業事例集（<https://www8.cao.go.jp/pfs/jirei.html>）を用いた、NTT PARAVITA調べ（2022年5月）

ねむりの見守り

睡眠センサーで取得したデータは、睡眠日誌と呼ばれる1日毎のグラフで表示されます。

[凡例]

- : 寝床にいて、ほとんど体を動かさずぐっすり睡眠できている状態
- : 寝床にいて、寝がえりなど体が動いている状態
- : 電源は入っているが、寝床にいない状態
- : 電源が入っていない状態



70代女性 パートナーとお二人暮らし 要支援1



3ヶ月後



寝つき時間

睡眠センサーや聞き取りから分かったこと

- ・寝床でテレビを観ながらウトウトする
- ・「早くベッドに入らないとって焦る」

アドバイスしたこと

- ・現在の睡眠時間で十分であること
- ・寝床で「寝ること」以外を控えること
- ・就床時刻を遅くすること

改善につながったこと

- ・寝つき時間が減少
- ・睡眠効率が平均75%→85%に改善

70代女性 パートナーとお二人暮らし 要介護認定なし

起床時間

睡眠センサーや聞き取りから分かったこと

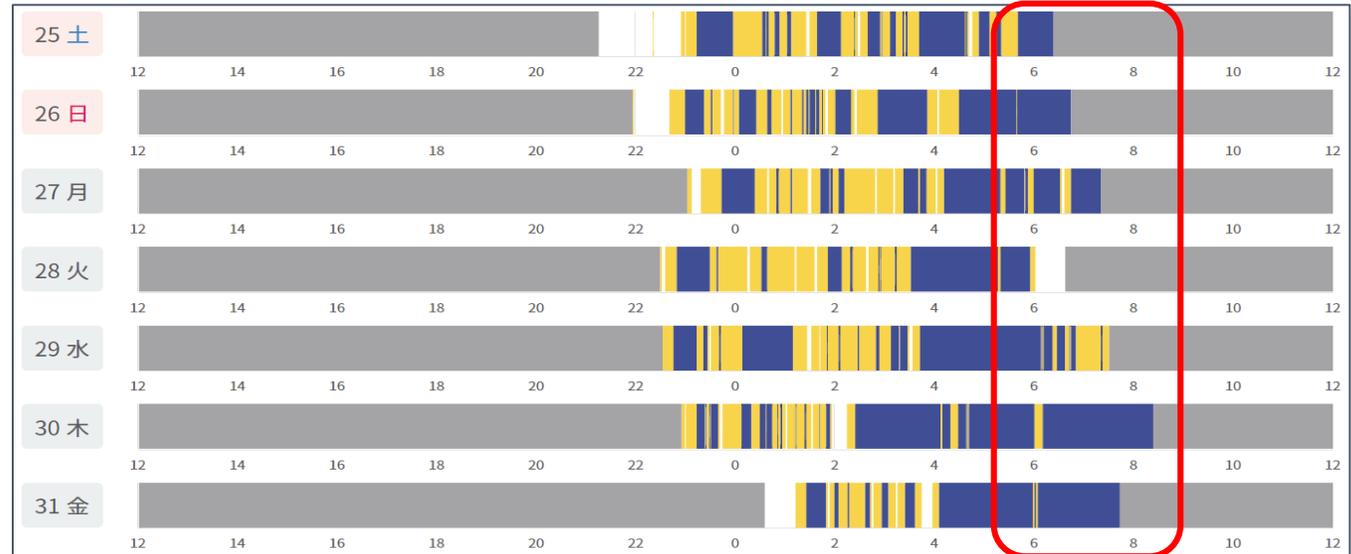
- ・起床時刻が日によって異なる
- ・「就寝直前に入浴する」
- ・「夕方以降にうたた寝をする」

アドバイスしたこと

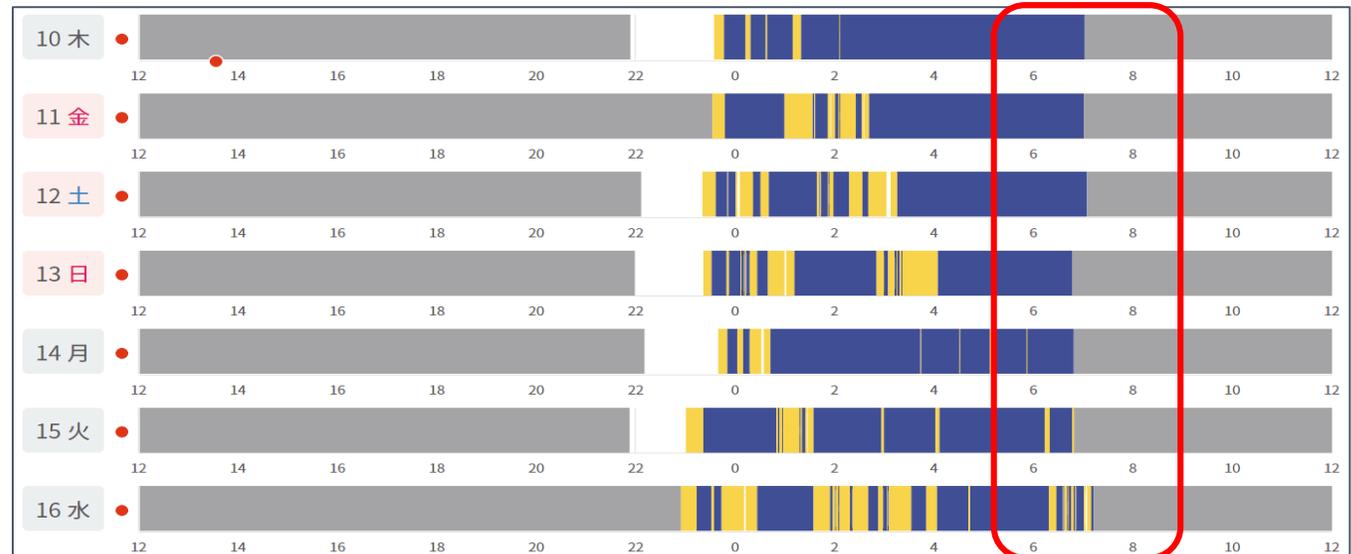
- ・起床時刻を揃えること
- ・就寝時に後頭部を冷やすこと
- ・15時以降眠らないこと

改善につながったこと

- ・寝つき時間が減少
- ・中途覚醒が減少
- ・「ぐっすり眠れることが増えた気がする」



↓ 1ヶ月半後



80代女性 独居 要支援1

中途覚醒と昼寝

睡眠センサーや聞き取りから分かったこと

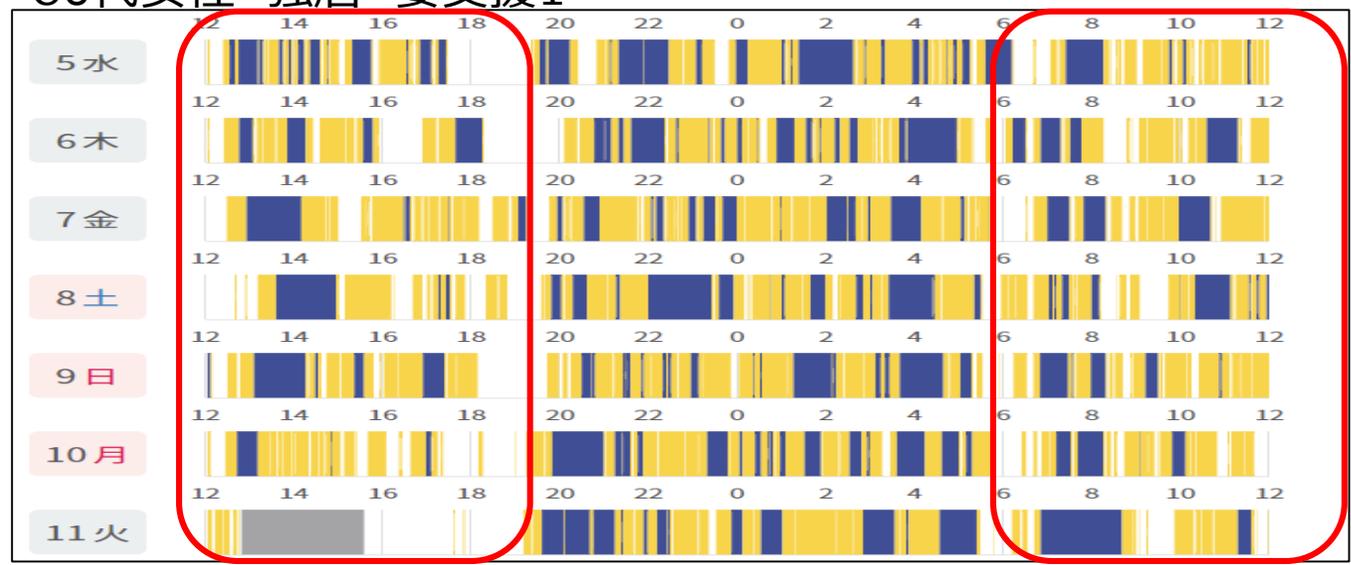
- ・夜間の中途覚醒が多いこと
- ・ベッド上で生活している
- ・日中家の中で過ごしている
- ・昼寝が長い、夕方以降の昼寝がある

アドバイスしたこと

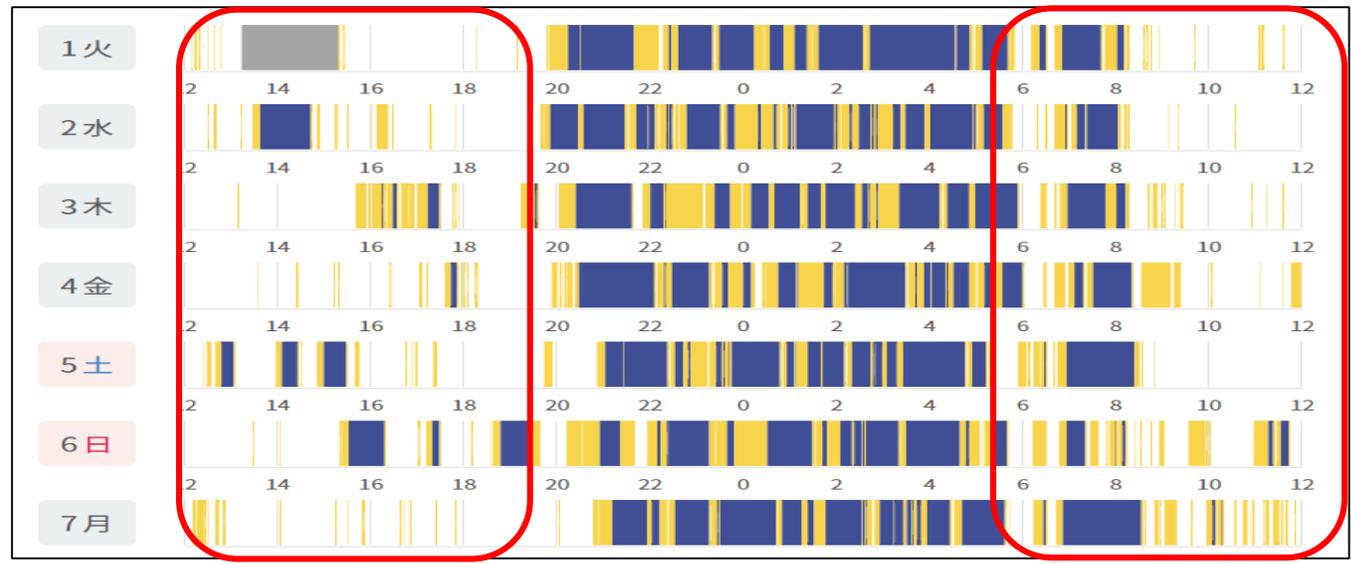
- ・日中はベッド上で過ごさないこと
- ・毎日、朝日を浴びること
- ・お昼寝は15時まで30分以内とすること

改善につながったこと

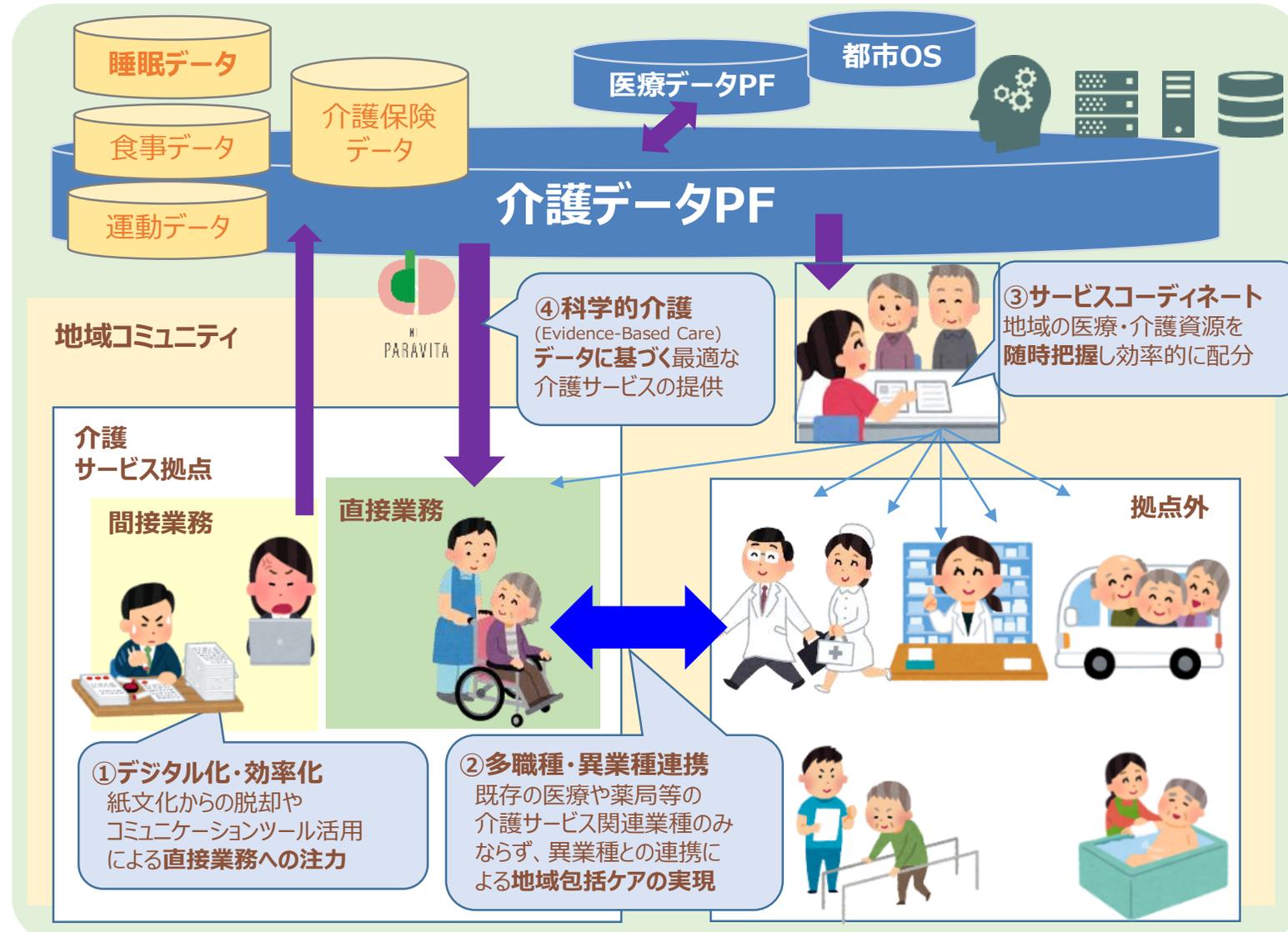
- ・中途覚醒が減少
- ・睡眠時間が増加
- ・本人より「日中の体調が良くなった」



2ヶ月後



介護分野では、高齢者の増加と、生産年齢人口の減少を背景にして「間接業務の効率化」と「サービス品質の向上」に寄与するDXが求められている。



脳活ツール(CogEvo)などを活用した、eスポーツ×ヘルスメディカルの取組みを通じて、認知症予防の関心を高めると共に、NTT PARAVITA社の認知症予防サービスなどとのAPI連携を通じて、サービス価値の相互向上を図る。

■ eスポーツで認知症予防の関心を高める



CogEvo^{Pro}
認知機能のチェック&トレーニング

脳活ツール(CogEvo)の機能
認知機能とチェックとトレーニングが
12種類のゲーム機能で行えるツール

eスポーツを通じて
脳活データを取得



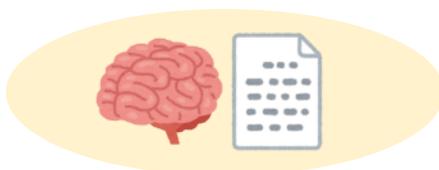
■ NTT PARAVITAと連携し、サービス拡充



NTT PARAVITA社の提供サービス

- 自治体向け 認知症予防サービス
- 調剤薬局向け 睡眠改善指導サービス

睡眠センサーを通じて睡眠
データ取得

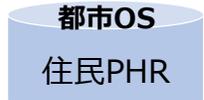


脳活データ取得

API連携



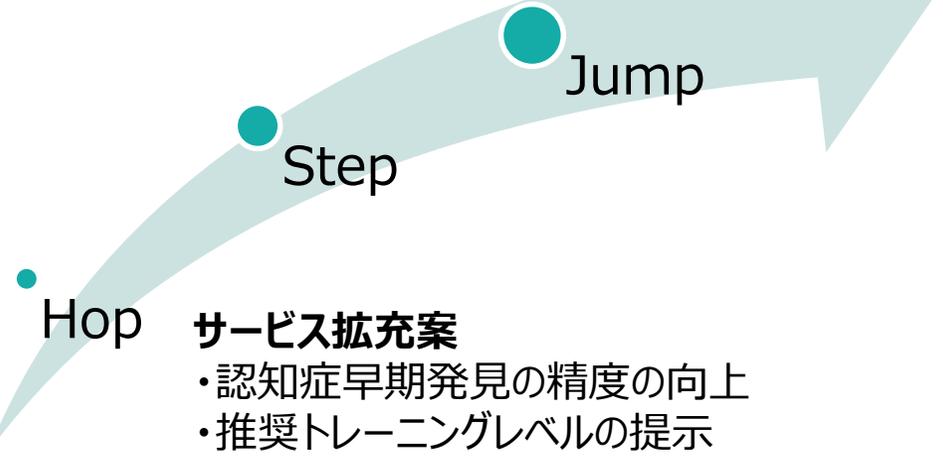
睡眠データ取得+脳活データ



都市OS
住民PHR

都市OS (PHR)とのデータ連携により、
各サービスとのシナジー効果を図る

情報銀行
・健康通帳
・電子母子手帳
・ゲノム医療



サービス拡充案

- 認知症早期発見の精度の向上
- 推奨トレーニングレベルの提示
- 適切な睡眠時間の提示



シニア向け
eスポーツ全国大会をNTT西日本がサポート
持続的なウェルビーイング社会の実現へ！



地域活性化 × ICT



eスポーツで健やかに、ICTで変えていく。

Well-being innovation

MBC 南日本放送 × NTT西日本
eスポーツde脳活！

パズルゲームで脳を活性化
プログラマー 対 戦

脳の認知機能別トレーニングツールで測定
脳トレーニング体験

CogEvo[®] コグエボ

プログラマー Tema

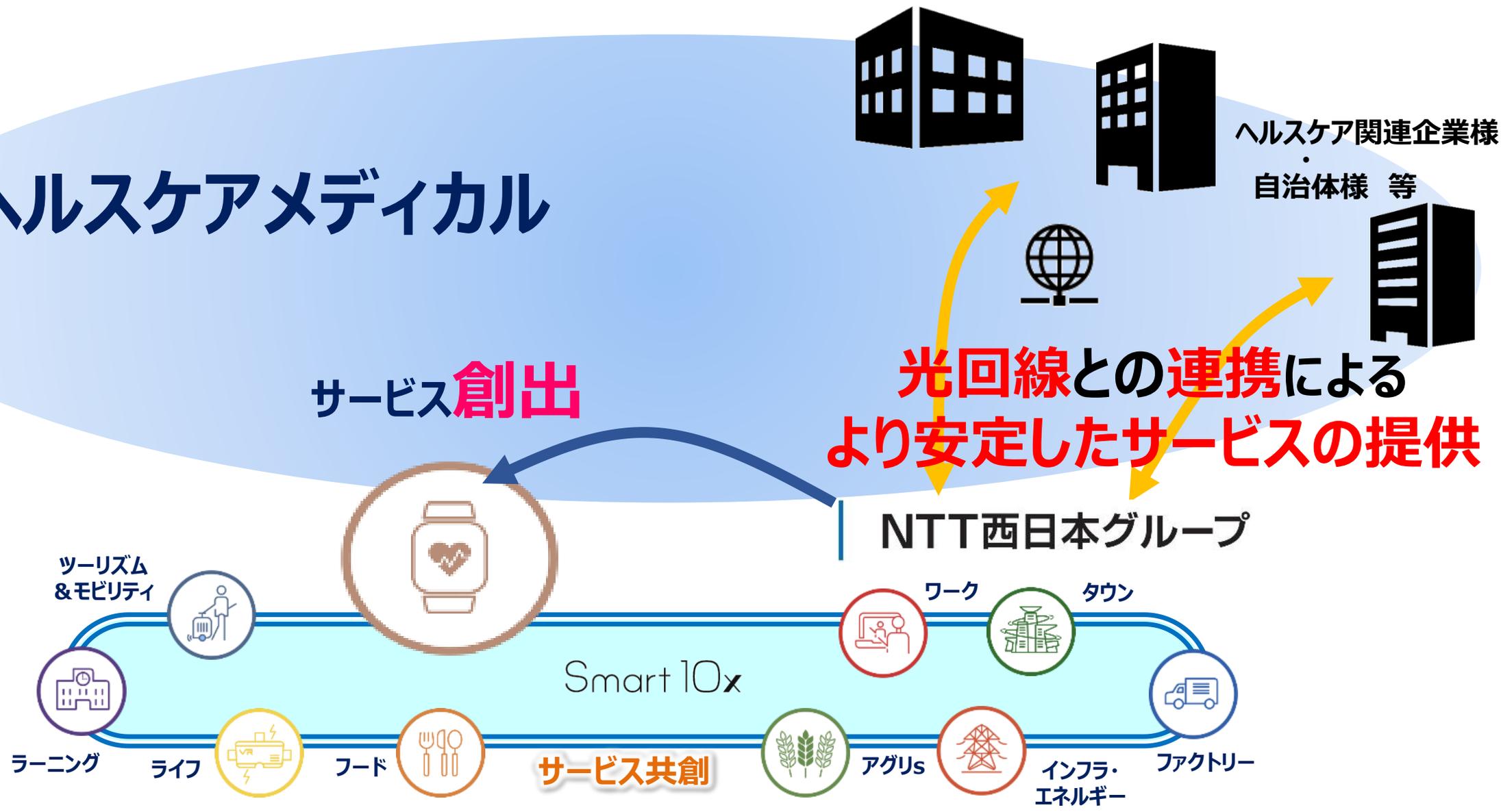
体験予約受付中！



ヘルスケアメディカル

サービス**創出**

**光回線との連携による
より安定したサービスの提供**



1. NTT西日本グループのヘルスケア分野に関する取組み

2. **光回線を採用いただいたハッピーベル株式会社様の取組み**

介護が 変わる

もっと手軽に 簡単に!

家庭のテレビで“オンライン見守り”

テレビ電話 ami

(amiのaは安心 mは見守る iはいつでも)

テレビ電話アミ
実装する主な機能

テレビ電話/3者通話

服薬/健康管理

広報配信

緊急通報

見守りカメラ

テレビだから
大画面・大音量



在宅
高齢者

すべてがつながる

離れて
暮らす家族

行政
福祉課

介護
事業所

医療
かかりつけ医

テレビ電話アミが
取り組むべき課題

高齢者の社会的孤立

フレイル進行の懸念

自立支援への弊害

認知症予防の対応低下

介護者の負担軽減



ami 本体



緊急通報ボタン連携

テレビ電話 a m i 開発の経緯とその背景

当社は、ビデオ通話システムの研究を始めたのが2012年の事で、当時第二世代iPadが出始めた時期です。その後、2016年に、本格的にビデオ通話システムの開発に着手、翌2017年にビデオ通話システム「テレナス・ふりなす」を完成、市場に投入しました。

商品は、スマホ連携介護施設向けのビデオ通話ナースコール、これが当社のメイン商品です。

2018年にシステム的大幅アップグレードを行い、ビデオ通話エンジンに「WebRTC」の技術を組み込み、これが現行システムの原型となります。

それと並行し、テレビとつながるビデオ通話システムの開発は、2017年12月に試作機が完成、2018年に上市しました。当時は、事業者向けの「遠隔診療システム」という位置付けでした。

その後、2020年以降のコロナウイルス感染拡大の影響で、在宅高齢者と遠方に暮らすご家族との接点が希薄になり、高齢者の自立支援の弊害、社会的孤立の増加、認知症予防の対応低下、フレイル進行が懸念されるようになり、また、感染拡大への不安に伴う職員のストレス、離職の問題、経営リスクなどが高まる中、手軽に簡単に家庭のテレビでオンライン見守りができる商品開発に着手しました。同時に、災害時でも活用できる「在宅専用・独居高齢者専用」のシステムが、テレビ電話 a m i (アミ) です。

現在も未来形で進化を続け、新たな機能を組み込むことで、より有用な、更なる利便性を追求しています。

テレビ電話 a m i が構築する人の温もりの医療・介護

独居高齢者・社会的な援助が必要な方

地域包括ケアシステムの新しい「カタチ」



コロナ禍で孤立化する高齢者・被介護者のフレイル進行を防止するため、テレビ電話コミュニケーションコンテンツが必要不可欠。



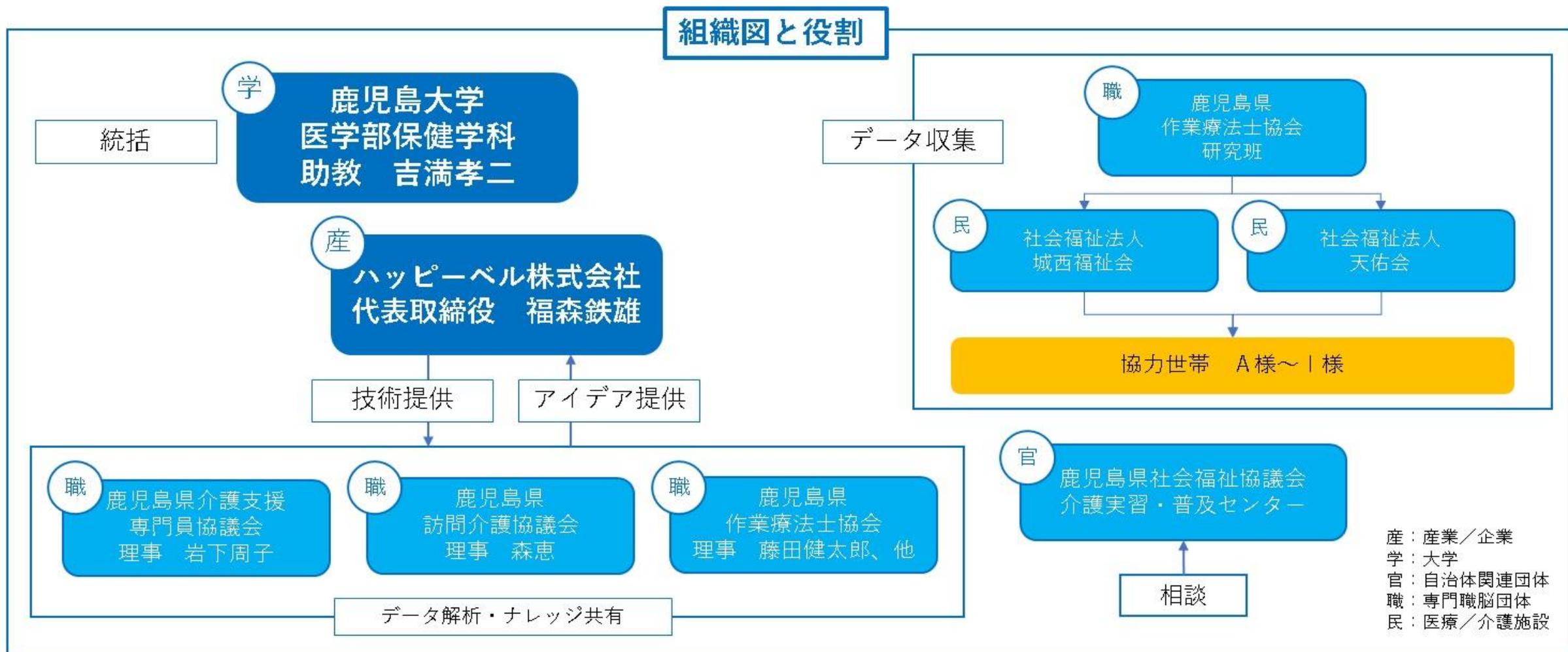
機能紹介

ami でなにができるの？

1. スマホから着信があると...
自動でテレビの電源がONになりテレビ電話ができます。
2. テレビを見ているときにスマホから着信があると...
自動でチャンネルが切り替わりテレビ電話ができます。
3. 緊急通報用「呼出しボタン」を押すと...
テレビの電源がONになり、スマホを呼出してテレビ電話ができます。
4. 広報・お知らせ配信ができます。
5. メッセージやビデオが配信できます。
6. 3人で会話ができます。
7. テレビにつながない場合は、見守りカメラになります。
8. テレビ画面に手描きで絵を描き画面共有ができます。

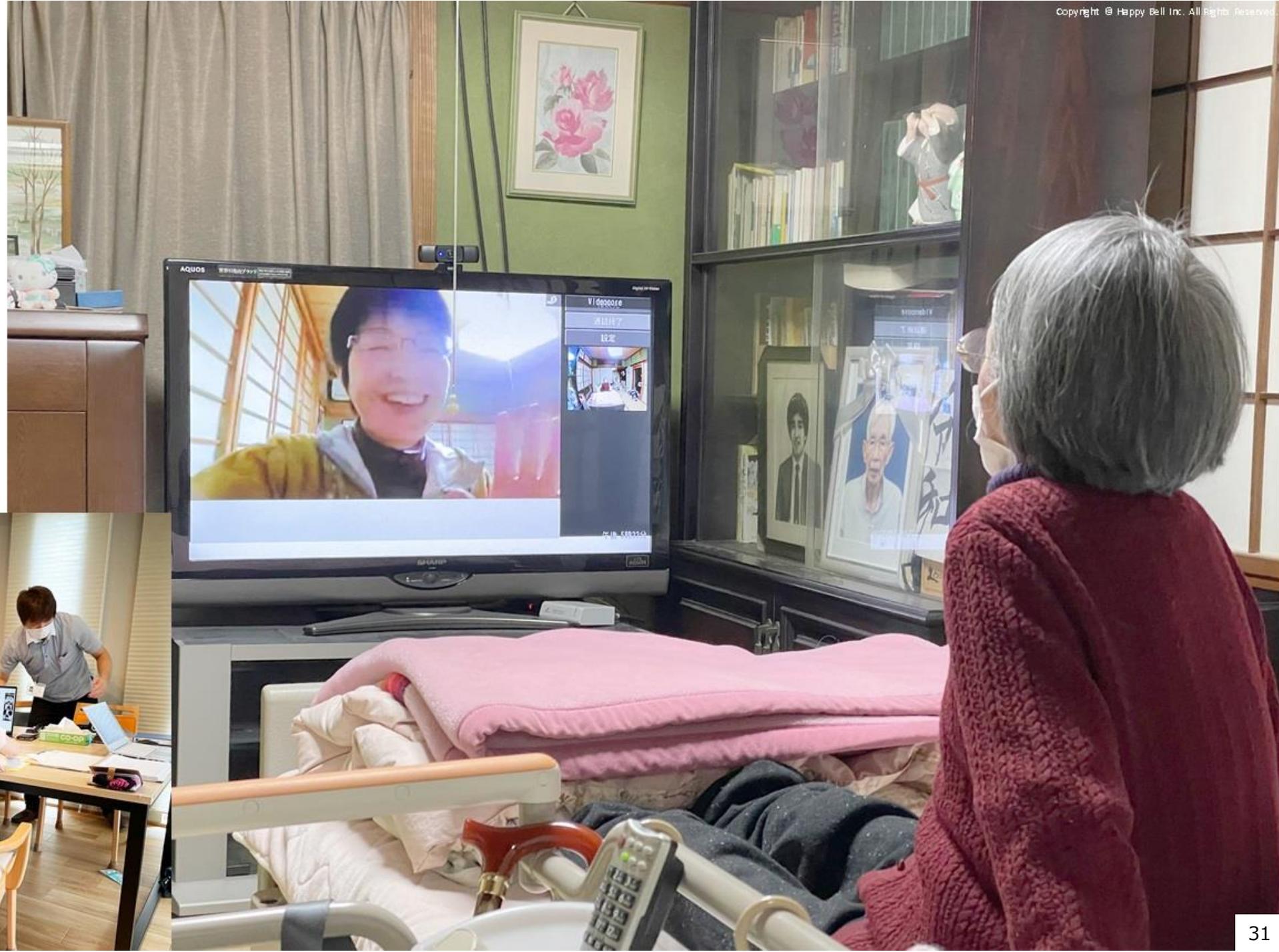
テレビ電話を用いたオンライン見守りの実証実験

昨年、鹿児島大学医学部保健学科 介護ロボット・独居高齢者研究を専門とする「吉満孝二 助教」の協力のもと鹿児島県内で実証実験を行いました。



実証実験

神奈川県在住の娘さんと
鹿児島県の一人暮らしの
お母様との会話。
ケアマネさん立ち会いの
元に、ご家族と使い方の
説明を行い実証実験のご
協力をいただきました。



実証実験

ケアマネさん立ち会いの
元に、ご家族と使い方の
説明を行い実証実験のご
協力をいただきました。



技術的な課題・運営課題・評価

鹿児島県内 9 件で実証を行う

問題

7 件が通信環境が無い

対応

◎Wi-fiルーターのレンタル

◎光回線の導入

通信課題

設置場所によって通信が不安定
映像クオリティが低い

通信が安定
映像クオリティが高い

評価

ご利用者様のリテラシーに依存しないシステムにより
介護スタッフなど運営側の労務は皆無

利用者アンケート結果

被験者9 有効回答数4（内、夫婦を1と計算）

	独居90代女性	夫婦90代	独居80代女性	夫婦90代
1：訪問頻度	月90回から60回に減	年3回から2回に減	10回/月	月25回から15回に減
2：平均滞在時間	15分から10分に減	5泊	3.5時間から3時間に減	1時間/回
3 ①：電話と比べた費用対効果	安い	安い	安い	やや安い
②：得られる情報量	多い	多い	多い	多い
③：会話の理解度	やや高い	高い	高い	高い
④：親近感		強い	強い	強い
⑤：その他 具体的に	やり取りが早い		孫の結婚式の際、ビデオ通話した。自宅に居ながら孫と話し、結婚式に参列したような気分になったようだ	様子が良く見える
⑥：総合的な満足度	高い	高い	高い	高い
その理由	母の様子がよくわかる	本人や部屋の様子がよく分かる TVは画面が大きくて、親も私たちをよく分かるようだ	離れた家族とも会話ができた。本人も通話を楽しみにしていた。家族の顔を見て安心していた。	お互い笑って会話ができ、安心できた。

テレビ電話を利用して 役立ったこと



- 訪問の負担の軽減
- 自身の安心感の確認
- 孤立の防止
- 在宅生活の継続
- 認知症の予防または改善

- 相互理解の深化
- 家族の健康の維持
- 緊急時の即時対応
- その他

■ 緊急時の即時対応について

ビデオ通話で車いすから落ちていることが分かり、駆け付けた

母の血圧が数日高くなり、救急車で搬送されたが、その様子をビデオ通話で見られた

部屋の散らかりようから母親の体調不良が分かった、顔色が悪い時には受診を勧めた

母が明るくなった。日中は一人で過ごし、話す人がいないが、ビデオ通話を始めてから元気になった。

利用者アンケート結果

見守り・コミュニケーション の負担の変化



■ 大いに軽くなった ■ やや軽くなった

■見守りにテレビを利用したメリット

母にはスマホ・タブレットの操作が難しい テレビがよい

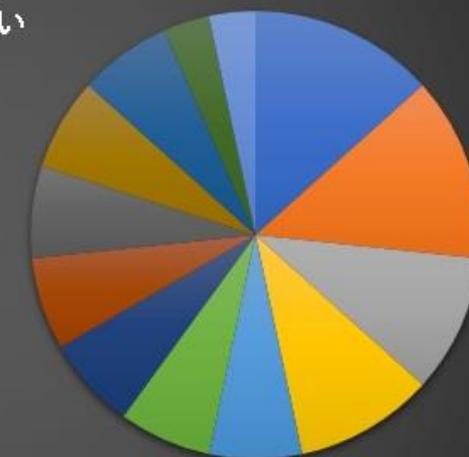
画面が大きく、認知症の父親がほぼ等身大に映る私を理解しやすいようだ

テレビの画面が大きいのので、普段話をしている定位置で会話ができる。

テレビだと周囲（部屋の様子）が良く見える。

テレビ電話に期待すること

- 体操やレクを提供
- 遠隔診療
- 担当者に家族の状態確認を依頼したい
- バイタル情報の表示
- 訪問系サービスの様子を見たい
- 入所系施設での様子を見たい
- 3者通話をしたい
- 担当者会議に参加
- 訪問や送迎の予告
- センサと連動して外出把握
- (その他)
- 通所系施設での様子を見たい
- スマートスピーカーと連動し家電操作



テレビ電話

テレビとスマホでテレビ電話

- ◎スマホからテレビを呼出し
- ◎テレビの電源が自動で入り
- ◎自動応答でテレビ電話

- ◎リモコンや呼出しボタンを押すと
- ◎テレビの電源が自動で入り
- ◎スマホを呼出してテレビ電話



離れて暮らす家族



ご家族のスマホ



自動応答



呼出ボタン

在宅高齢者の家庭のテレビ



付帯機能

3人通話や画面共有できます

- ◎ 3者でテレビ電話ができる
- ◎ テレビに手描きで絵がかける
- ◎ 描いた絵は写真アルバムに保存

スマホ画面に手描きする



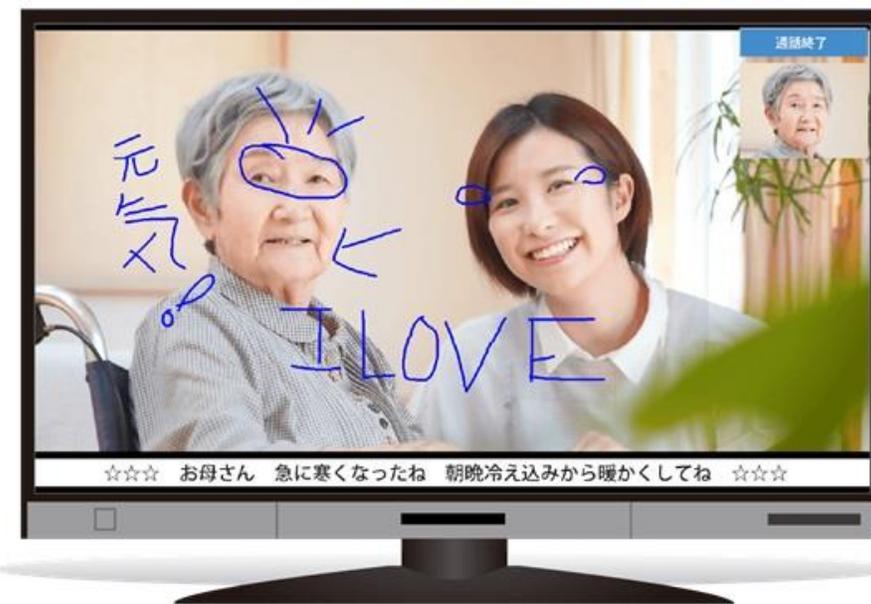
アルバムに保存



3者でテレビ電話
テレビ画面を左右に分割



テレビ画面に絵が描ける



☆☆☆ お母さん 急に寒くなったね 朝晩冷え込みから暖かくしてね ☆☆☆

緊急通報

どこでもつながる緊急通報

家族
行政



看護
介護

介護
事業所



私たちも
見守っているぞ

すべてが連携して！ どこでもツナガル

相手が留守でも
プッシュ通知で
着信がわかる



テレビの前に座っているだけ自動応答で通話が始まる



いざというときは
呼出ボタンを押す
だけで助かるわ！



在宅高齢者から緊急コール



呼出ボタンを押して
スタッフへ通知する

設置図

宅内の機器構成図

インターネットに繋がります



- テレビと a m i をHDMIで接続します
- Webカメラを a m i と接続します。
- 操作はテレビのリモコンを使います
- 呼出ボタンを使って通報できます



緊急通報用コールボタン

テレビリモコン

管理機能

ご利用者様一元管理

管理者のタブレット1台で
100人とつながる
(ご利用者様の一元管理)

管理者はタブレットやPCで
複数のご利用者様を一元管理できます

管理者はタブレットまたはPCを使います

通話相手がオンライン



通話を保留にした時



相手から着信中



通話中



担当者不在時の着信有り



通話ステータス



介護
事業所

行政
福祉課



在宅
高齢者



写真はイメージです。

自動応答

TV電源ON / 自動応答

特許第6883189号

1. テレビを見ている時
→ 自動でテレビ電話の画面に切り換わる



スマホから

着信があると
自動で切換え

2. テレビ電源OFFの場合
→ 自動でテレビ電源がONになりテレビ電話の画面に切り換わる



スマホから

着信があると
自動で切換え

3. 緊急時のナースコールとして

市販のリモコンが使える
特定のボタンを押して
ナースコール



屋外でも使用できる
呼出ボタン



音声操作
に対応

Amazon Echo
呼びかけるだけでテレビ
から相手を出します

健康管理

ご利用者様の健康管理をテレビを通して行います

毎日のお薬管理

- ◎朝昼晩と時間を決めてお薬の時間をテレビに配信します。
- ◎利用者様がリモコンで「飲んだ」を押します。
- ◎毎日の服薬履歴が取得できます。

毎日の健康管理

- ◎1日2回、時間を決めて体調状態を配信します。
- ◎利用者様がリモコンで「良い・普通・悪い」を押します。
- ◎毎日の体調状態の履歴が取得できます。

デイ サービス時間のお知らせ

- ◎今日のデイサービスの時間をテレビに配信します。
- ◎利用者様がリモコンで「確認しました」を押します。
- ◎毎日の服薬履歴が取得できます。

指定した時間にテレビ画面に出力

健康管理・お薬管理

お薬を飲みましたか？

飲んだ

健康管理・お薬管理

体調はいかがですか？

良い

普通

悪い

健康管理・お薬管理

今日のデイサービスの時間は9時30分です

確認した

その他の機能**緊急時にテレビにお知らせ配信します****◎広報・ハザードマップ配信（お知らせ配信）**

緊急時において、震災・津波・風水害などの案内放送を、テレビを通してご利用者様に配信することができます。

録音機器不要**◎静止画・動画で配信**

再生 広報・ハザードマップ配信 戻る

◇緊急地震速報◇

3月31日23時34分ごろ、●●県〇〇市南部で地震がありました。震源の深さは約20km、地震の規模（マグニチュード）は4.3と推定されます。

この地震による津波の心配はありません。

ブラウザでリアルタイムに音声を録音してテレビに配信・再生が可能！

～ご利用者様の声～

◇K様

昨年はスマホで鹿児島市の父を遠隔見守りをしましたが、画面が小さく話をしていても振り向いてくれませんでした。今年はテレビを使い、父はテレビを通して私と話をすることが出来るため、コミュニケーションが増えました。

◇K様 インド（本人）と日本（父親）

父とは、何回かテレビ電話を致しました。

こちらはネット環境も良く、カクカクとする事もなくスムーズな通話が楽しめております。

やはり声だけではなく、顔がそれもライブで見れることで体調の良し悪しなんかも分かり、本当に購入して良かったと思っております。

～中略～

こういったサービスがどんどん普及し、家族や大切な人とのコミュニケーションが円滑に進んでゆくこと、ユーザーのひとりとして願ってやみません。

◇N様 イギリス（本人）と日本（両親）

みなさま、本日おかげさまで両親、妹、私と三人でテレビ通話できました。ありがとうございます。両親にとって顔が見れるのは、やはりとても嬉しいみたいです。ありがとうございました。

～今後の展開～ 未来へのチャレンジ

前提

- ・利益は会社のため個人のためならず社会奉仕事業であること
- ・世の中の役に立つものであること

必要理由

- ・独居高齢者の社会的孤独が増加する高齢者ケアのため
- ・平時・災害時のコミュニケーションツールとして

販路拡大

- ・介護の現場で、利便性の高いスタンダードなツールになること
- ・一家に一台当たり前に置いてある暮らしを創造する

通信課題への対応

光回線

改善・機能拡張

利便性

未来展望

利便性の追求と、通信回線とのコラボにより、社会に必要な商品としての地位を確立し拡販に努めたい。

**ご清聴ありがとうございました。
ご質問やお問い合わせは下記までご連絡ください**

NTT西日本グループ
2ei-community@west.ntt.co.jp

ハッピーベル株式会社
happy@happybell.jp